

「すべての世代が生き活きと暮らせる島」を目指して 令和8年度施政方針

令和8年久米島町議会3月定例会の開会にあたり、桃原秀雄町長が「施政方針」を表明しました。

はじめに

はいさいぐすーよーち
ゆうがなびら

私はこれまで、町の将来像である「夢つむぐ島」島人みんなで織り上げる未来「」の実現を目指し、「すべての世代が生き活きと暮らせる島づくり」を掲げ、ライフステージ毎に各種施策に取り組んでまいりました。

取り組みの結果として、町民福祉の向上に繋がった施策や更なる取り組みの継続と拡充が必要な課題もあります。

令和8年度は、本町の指針となる「第3次久米島町総合計画」がスタートする、極めて重要な節目の年であります。

「第3次久米島町総合計画」では、「夢つむぐ島」の将来像を第2次から引き継ぎ、産業振興を基軸とした将来フレイム（人口目標、町内総生産額）を掲げ、町民福祉や町民幸福度向上の実現、持続可能な島づくりに邁進してまいります。

国においては、衆議院選挙の実施に伴い令和8年度予算の成立が4月以降にず

れ込むことが懸念されていますが、令和8年度当初予算案で示された沖縄振興予算は、「『強い沖縄経済』の実現に向けて、各般の産業振興施策を推進するとともに、物価高騰にも対応」との方針のもと、10年ぶりの増額となっており市町村関連予算では「沖縄振興一括交付金」「沖縄離島活性化推進事業」とともに増額となっております。

沖縄県においては、「改正沖縄振興特別措置法」が施行から前期5年を迎えるにあたり、後期に向けて国への政策提言に取り組んでいるところですが、

政策提言にあたっては、離島・交通・産業振興・教育・こどもの貧困等、30の政策分野について「環境の変化」や「現状・課題」を検証し、「強化すべき取り組み」を取りまとめ提言することとしています。

沖縄県からの政策提言を基に国から打ち出される沖縄振興策に注視し、本町の町づくり施策に展開してまいります。

本町の施策事業実施については、引き続き国や県の財源をしっかりと活用しながら



ら、取り組んでまいります。町政運営の推進については、令和8年度からスタートする「第3次久米島町総合計画」を指針に、各施策事業に取り組んでまいります。

人口減少や少子高齢社会、子育て支援の強化、物価高騰対策等、直面する課題は山積していますが、「町民が誇れる島」「住み続けたいと思える町」の実現に取り組んでまいります。

ここからは、私の町政運営の基本的な考え方を申し上げます。